

55t
あきんど
攻める商人！ 繋がる商人！
あきんど

●第149回(平成28年度第2回)●

中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成28年 7月～ 9月・報告

平成28年10月～12月・予想



次の100年も
・・・ここに商工会

栃木県商工会連合会

目次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況D I 推移を比較・・・図1	
県内産業別の業況D I 推移を比較・・・図2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・・・図3
売上額(加工高)の状況	・・・図4
採算(経常利益)の状況	・・・図5
設備投資の状況	・・・図6
経営上の問題点の状況	・・・図7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・・・図8
売上額(完成工事高)の状況	・・・図9
採算(経常利益)の状況	・・・図10
設備投資の状況	・・・図11
経営上の問題点の状況	・・・図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・・・図13
売上額の状況	・・・図14
採算(経常利益)の状況	・・・図15
設備投資の状況	・・・図16
経営上の問題点の状況	・・・図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・・・図18
売上額(収入高)の状況	・・・図19
採算(経常利益)の状況	・・・図20
設備投資の状況	・・・図21
経営上の問題点の状況	・・・図22
6. 調査対象事業所の内容	16

○D I 指数とは

本文中やグラフ中に登場するD I 値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がり示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。

〔 調 査 要 領 〕

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況等や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

矢板市・上三川町・うつのみや市・芳賀町・壬生町
野木町・小山市美田・那珂川町・黒羽・湯津上

○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数：149企業（回答率99.3%）

○調査時点

平成28年9月1日

○調査対象期間

平成28年7月～9月期の実績及び、平成28年10月～12月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

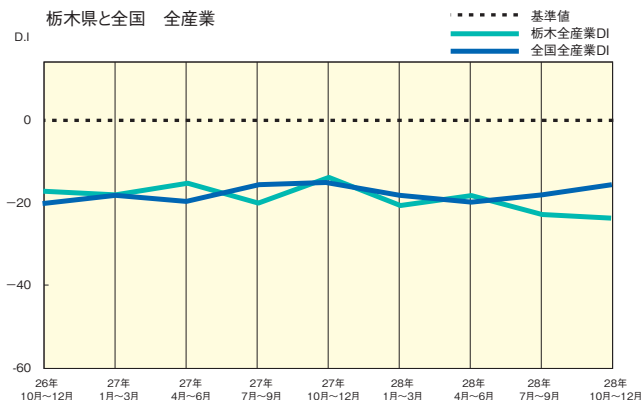
○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	32	21.5
建 設 業	19	12.8
小 売 業	37	24.8
サ ー ビ ス 業	61	40.9
合 計	149	100.0

1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「全国では改善を示すも、県内は悪化に転じる」
(前期比) 図 1



今期の業況を全国で見ると、D I 値は1.3ポイント（-19.5ポイント→-18.2ポイント）の改善となり、さらに、来期の見通しも1.9ポイントの改善を予想している。

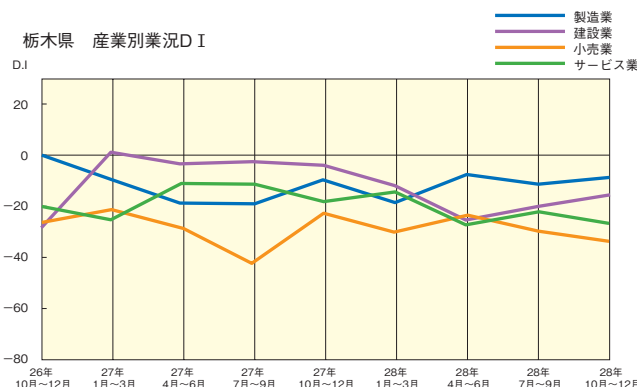
栃木県内の業況D I は、3.3ポイント（-18.5ポイント→-21.8ポイント）悪化し、来期予想は、1.0ポイント（-21.8ポイント→-22.8ポイント）の悪化を予想している。

全国・県内とも同水準を維持していたが、今期は全国と県内で差が広がった。来期はさらに全国と県内の差が広がると予想している。

※全国業況D I は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D I は、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれの調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「今期は建設業・サービス業が小幅な改善、来期は小売業・サービス業で悪化予想」
(前期比) 図 2



「建設業」が+3.1ポイント（-24.6ポイント→-21.5ポイント）、「サービス業」が+3.1ポイント（-26.6ポイント→-23.5ポイント）と、前期より小幅な改善となり、「製造業」、「小売業」については、小幅な悪化となった。

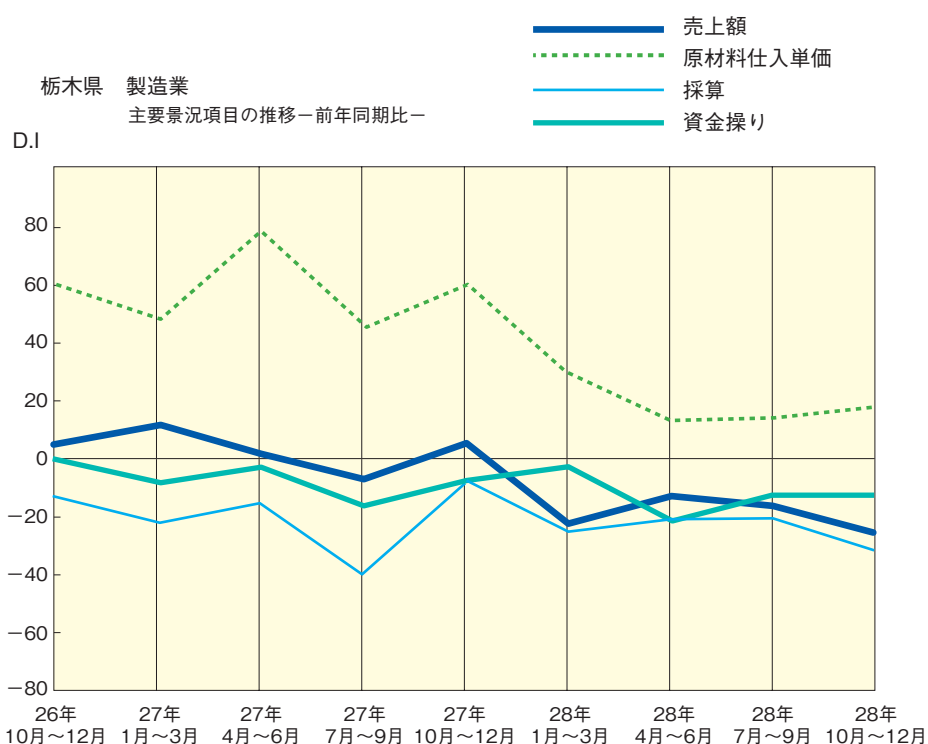
来期は「製造業」、「建設業」で小幅な改善となるが「小売業」、「サービス業」は悪化予想となっている。

2. 製造業の景況

－主要景況項目の推移－

「資金繰りが改善、来期は売上額・採算が大幅悪化を予想」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



今期は、前期に比べて「売上額」が3.3ポイント（-13.3ポイント→-16.6ポイント）悪化となったが、「資金繰り」は6.2ポイント（-20.0ポイント→-13.8ポイント）の増加となり、「採算」は前期と同じく横這いとなった。

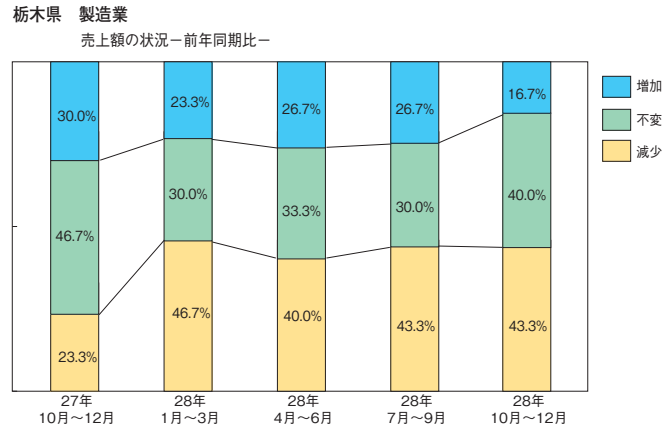
また、来期は「資金繰り」が0.4ポイント（-13.8ポイント→-13.4ポイント）増加するものの、「売上額」は-10.0ポイント（-16.6ポイント→-26.6ポイント）、「採算」は-13.3ポイント（-20.0ポイント→-33.3ポイント）の大幅な悪化を予想している。

「原材料仕入単価」は、4.3ポイント（7.7ポイント→12.0ポイント）の小幅な上昇となっており、来期の予想でも、4.0ポイント（12.0ポイント→16.0ポイント）の上昇を予想している。

－売上額(加工高)－

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

今期D I 値の内訳は、増加企業は変わらないものの、減少企業が3.3% (40.0%→43.3%) 増加したため、D I 値は-16.6ポイントと、前期と比べ3.3ポイントの悪化となった。

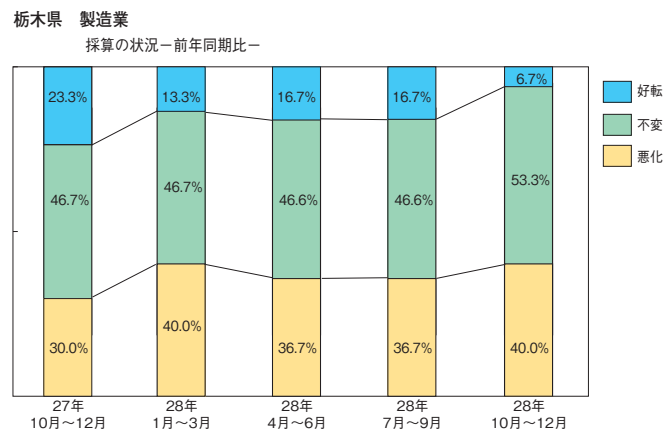


来期の見通しは、売上増加と予想する企業が10.0% (26.7%→16.7%) 減少し、不変と予想する企業が10.0% (30.0%→40.0%) 増加するため、D I 値は-26.6ポイントと悪化を予想している。

－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業・悪化企業共に前期と同様となっているため、D I 値は-20.0ポイントと横這いで推移した。



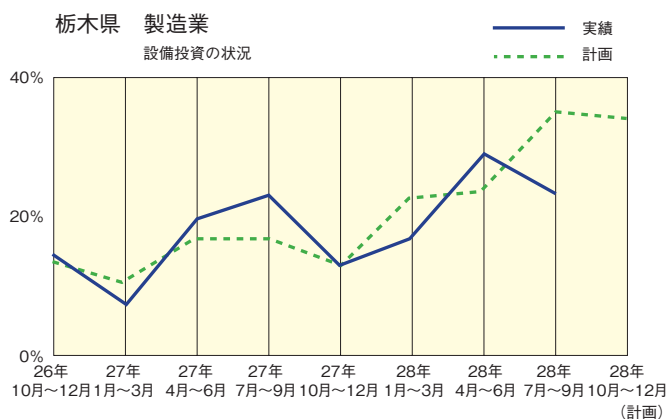
また、来期の見通しは、好転を予想する企業が10.0%減少し、悪化を予想する企業が3.3%増加するため、D I 値は-33.3ポイントとなり、13.3ポイントの悪化を予想している。

—設備投資の状況—

設備投資の状況 図6

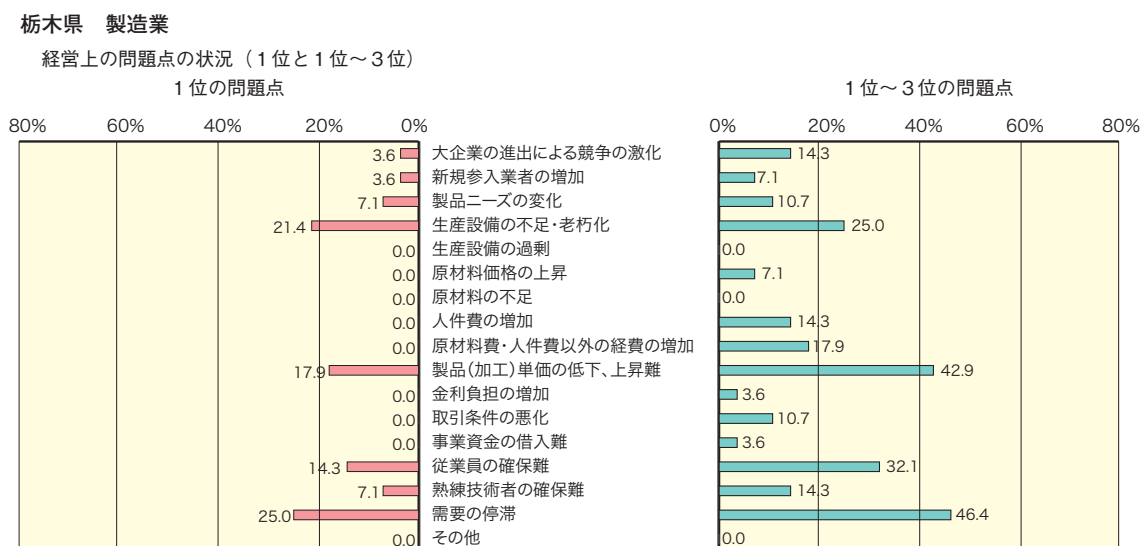
今期の設備投資の実績状況は、計画していた企業割合が34.5%に対し、実績は23.3%と計画を大幅に下回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は今期よりも1.2% (34.5%→33.3%) の減となるが、設備投資への意欲はまだ高い。



—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図7



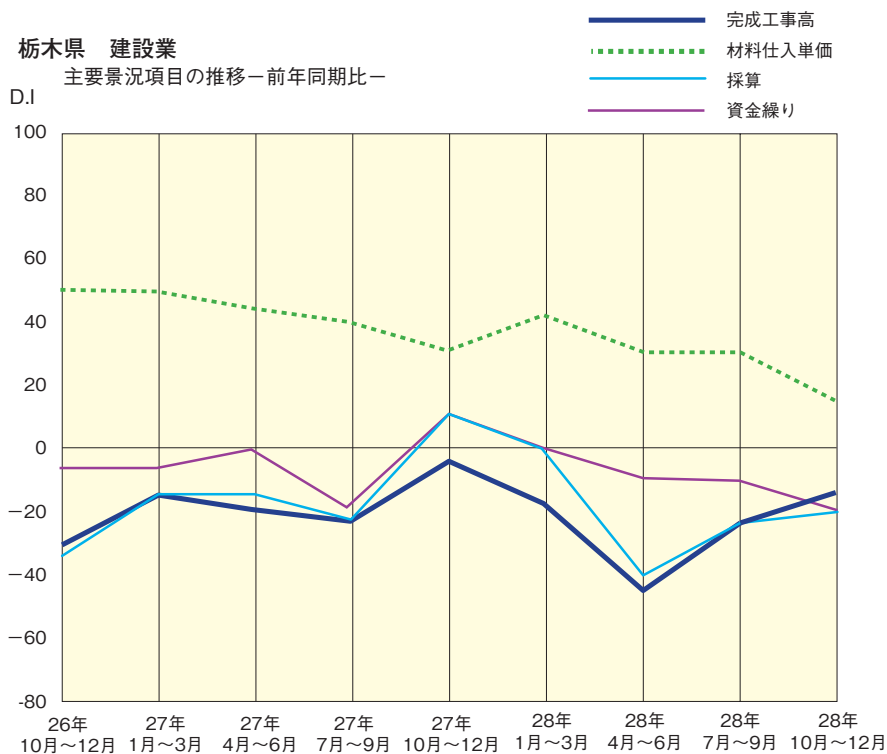
1位の問題点を見ると、「需要の停滞」(25.0%)が最も多く、次いで「生産設備の不足・老朽化」(21.4%)「製品(加工)単価の低下、上昇難」(17.9%)、となっている。1位~3位の問題点では、前述に加えて「従業員の確保難」(32.1%)を挙げており、課題が多いことを示した。

3. 建設業の景況

—主要景況項目の推移—

「完成工事高・採算が大幅に回復、来期も回復傾向維持を予想」

建設業 主要項目の推移（前年同期比） 図8



「売上額（完成工事高）」は前期比20.0ポイント（-45.0%→-25.0%）、「採算」は、前期比15.0ポイント（-40.0ポイント→-25.0ポイント）と、大幅な回復となった。

「材料仕入単価」、「資金繰り」は、前期比0.0ポイントと現状を維持している。

来期の見通しは、「売上額（完成工事高）」は10.0ポイント（-25.0%→-15.0%）の増加、「採算」は、5.0ポイント（-25.0ポイント→-20.0ポイント）の増加を予想している。

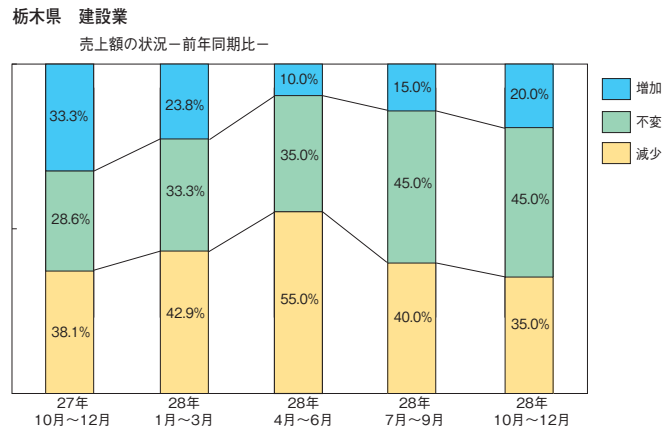
しかし、「資金繰り」は、10.0ポイントの悪化を予想しており、依然厳しい状況が続いている。

－売上額(完成工事高)－

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、増加企業が5.0% (10.0%→15.0%) 増加し、減少企業が15.0% (55.0%→40.0%) 減少したため、D I 値は-25.0ポイントと、前期に比べ、20.0ポイント改善した。

来期の見通しでは、増加を予想する企業が20.0%、減少する企業が35.0%となるため、D I 値は-15.0ポイントと、10ポイントの改善を予想している。

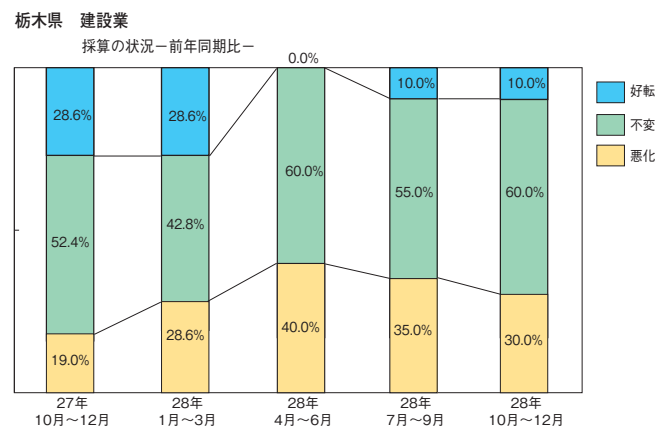


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期は、好転企業が10.0%(0.0%→10.0%)増加し、悪化企業が5.0%(40.0%→35.0%)減少したため、D I 値は-25.0ポイントとなった。

来期の見通しは、不変とする企業が5.0%(55.0%→60.0%)増加し、悪化企業が5.0%(35.0%→30.0%)減少するため、D I 値は-20.0ポイントと、5.0ポイントの改善を予想している。

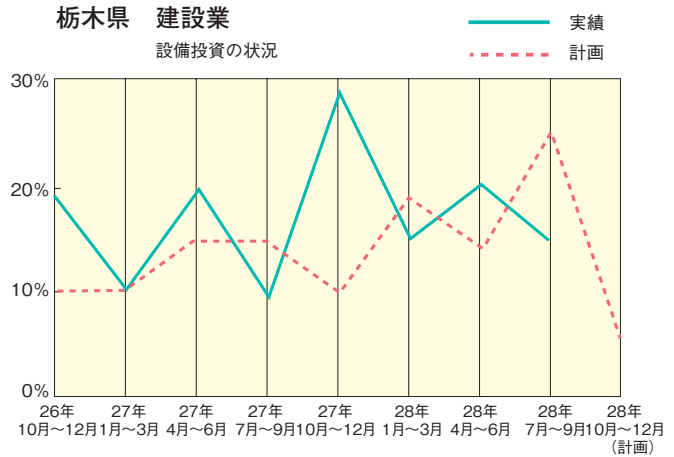


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図11

今期の設備投資の状況は、計画していた企業が25.0%に対して、実績は15.0%と計画を下回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、5.0%と今期計画より20.0%の大幅な減少を予想している。

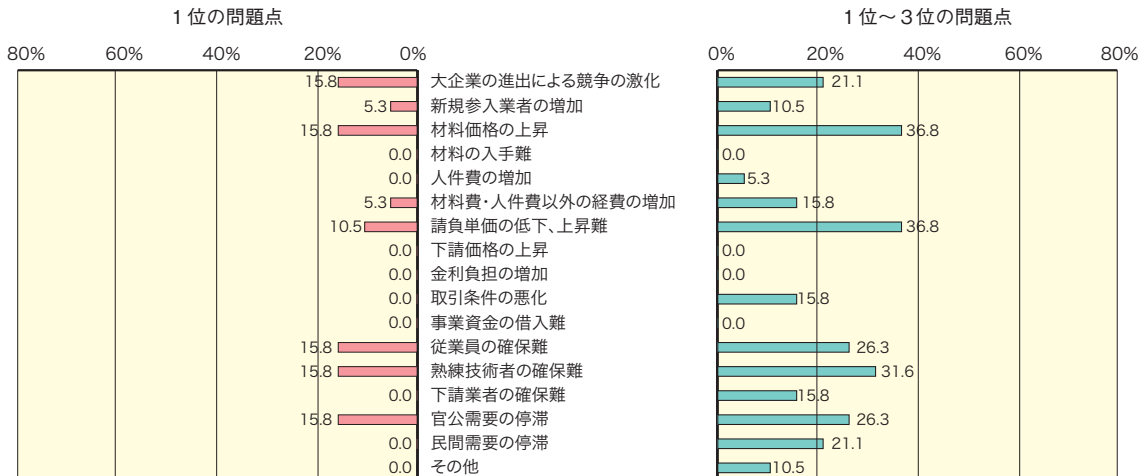


－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図12

栃木県 建設業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



1位の問題点では、「大企業の進出による競争の激化」、「材料価格の上昇」、「従業員の確保難」、「熟練技術者の確保難」、「官公需要の停滞」が同率（15.8%）で挙げられた。

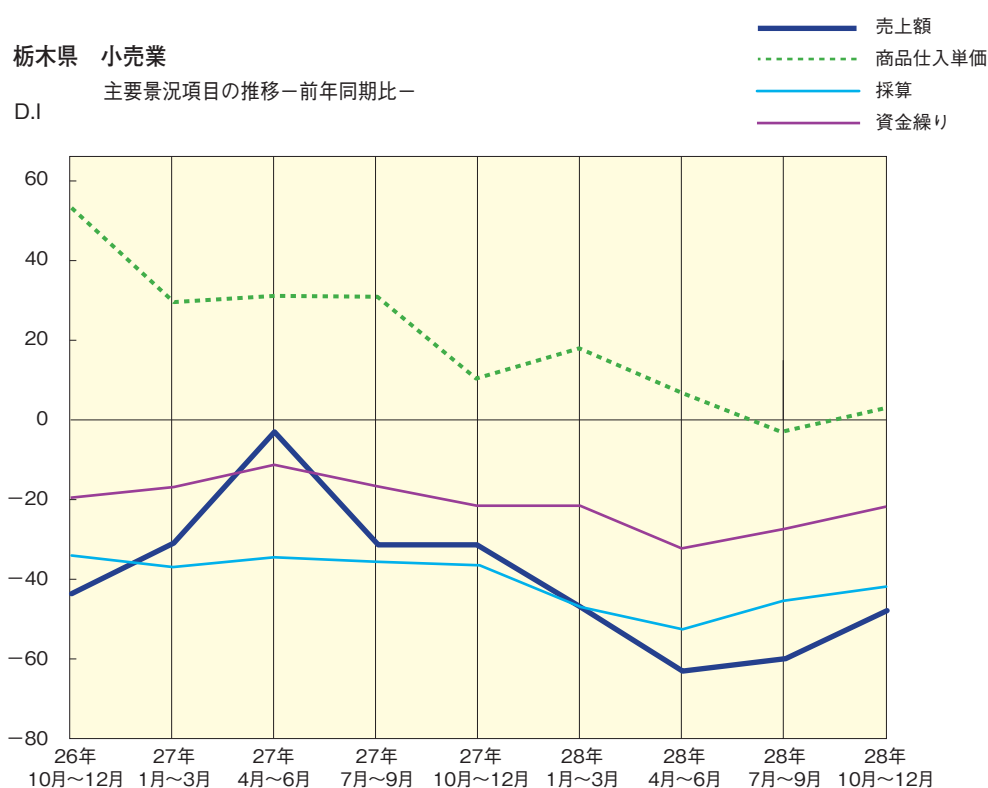
1位～3位の問題点では、前述の問題に加え「請負単価の低下、上昇難」（36.8%）が高い値で挙げられている。

4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「各項目で改善傾向ながら、依然として低水準が続くと予想」

小売業 主要項目の推移（前年同期比） 図13



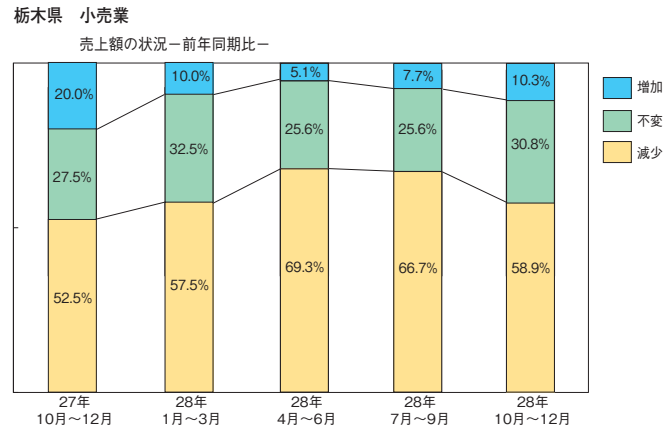
「売上額」が前期比5.2ポイント（-64.2ポイント→-59.0ポイント）増加し、「採算」が前期比7.7ポイント（-53.9ポイント→-46.2ポイント）、「資金繰り」が前期比5.1ポイント（-33.3ポイント→-28.2ポイント）の改善となった。

来期は、「売上額」の10.4ポイント増加をはじめ、小幅な改善傾向が続くとみているが、依然として低水準が続くと予想している。

—売上額—

売上額の状況（前年同期比） 図14

今期D I 値の内訳を見ると、売上額が増加したとする企業が7.7%、減少企業が66.7%となった。その為、D I 値は-59.0ポイントとなり、前期より5.2ポイント増加した。

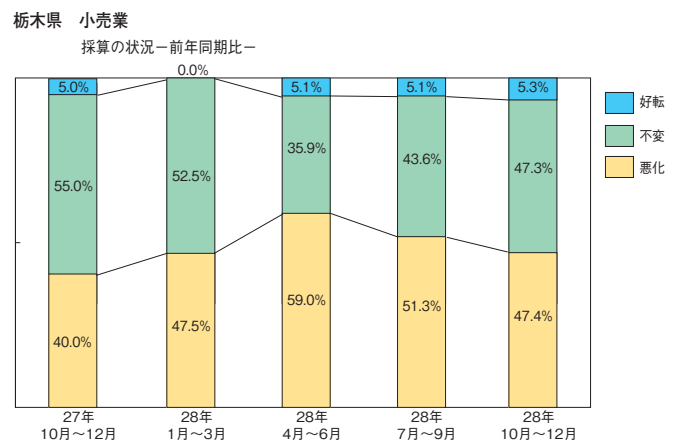


来期の見通しは、売上増加を予想する企業が10.3%に増加し、減少を予想する企業が58.9%と減少するため、D I 値は-48.6ポイントとなるが、依然として厳しい状況を予想している。

—採算（経常利益）—

採算（経常利益）の状況（前年同期比） 図15

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業が5.1%、悪化企業が51.3%で、D I 値は-46.2ポイントと、前期（-53.9ポイント）に比べ7.7ポイントの増加となっている。



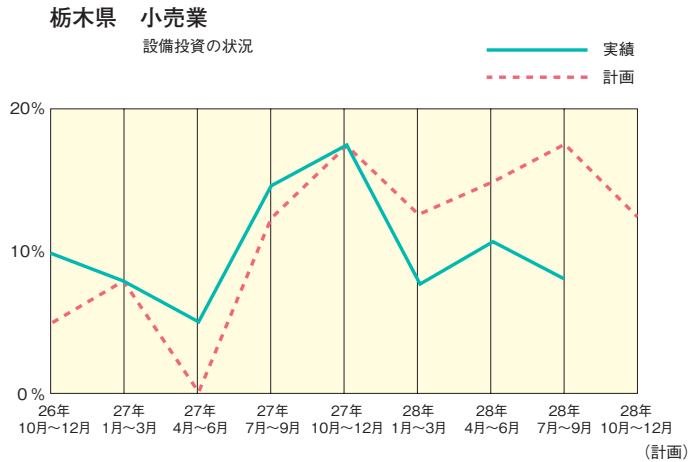
来期の見通しは、好転企業が0.2%増加し、悪化企業が3.9%減少するため、D I 値は-42.1ポイントと今期より4.1ポイント改善を予想している。

—設備投資の状況—

設備投資の状況 図16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業17.9%に対し、実績は7.7%と、計画を下回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期より5.1%（17.9%→12.8%）下回る計画となっている。

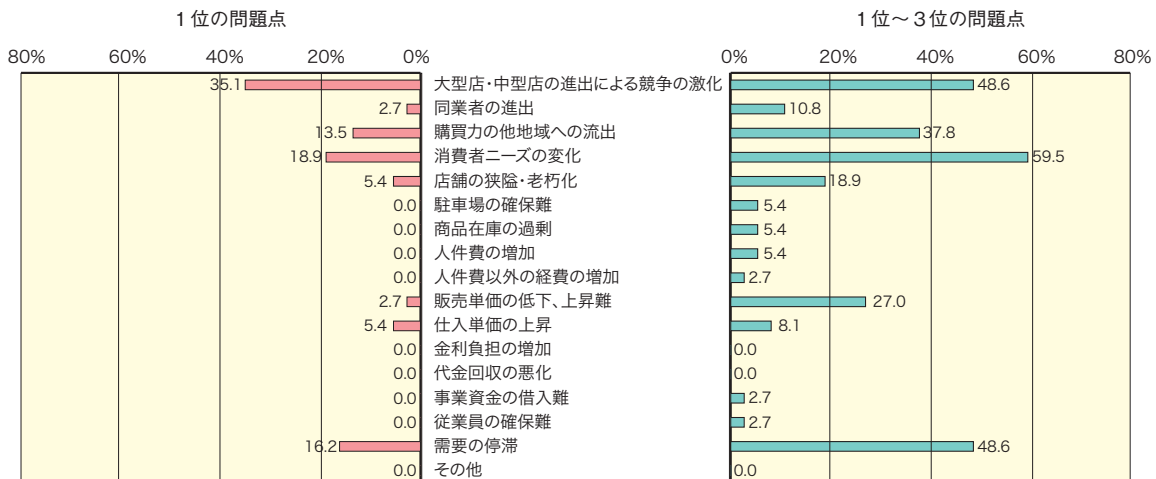


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図17

栃木県 小売業

経営上の問題点の状況（1位と1位~3位）



1位の問題点では、前期に引続き「大型店・中型店の進出による競争の激化」（35.1%）が高い水準を維持し、次いで「消費者ニーズの変化」（18.9%）、「需要の停滞」（16.2%）等が挙げられている。

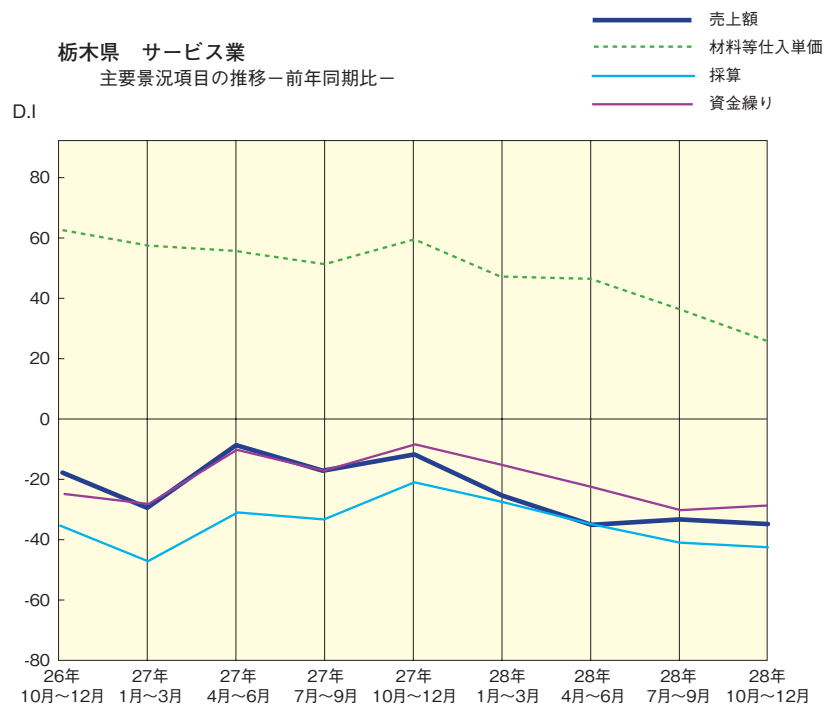
1位~3位の問題点では、前述の問題に加え「購買力の他地域への流出」（37.8%）「販売単価の低下、上昇難」（27.0%）が挙げられている。

5. サービス業の景況

－主要景況項目の推移－

「資金繰りが3期連続で悪化、来期は材料等仕入単価の大幅下降を予想」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比） 図18



今期の採算のD I値は、前期と比べ6.7ポイント（-33.9ポイント→-40.6ポイント）の悪化となった。

「売上額」は前期と比べ1.8%（-35.1%→-33.3%）増加したが、「資金繰り」は-6.7ポイント（-23.3ポイント→-30.0ポイント）と、3期連続で悪化となった。

「材料等仕入単価」は、前期と比べ10.1%（47.4%→37.3%）の下降となっている。

来期の「売上額」、「採算」、「資金繰り」については、今期を維持するとみているが、依然厳しい状況が続くと予想している。

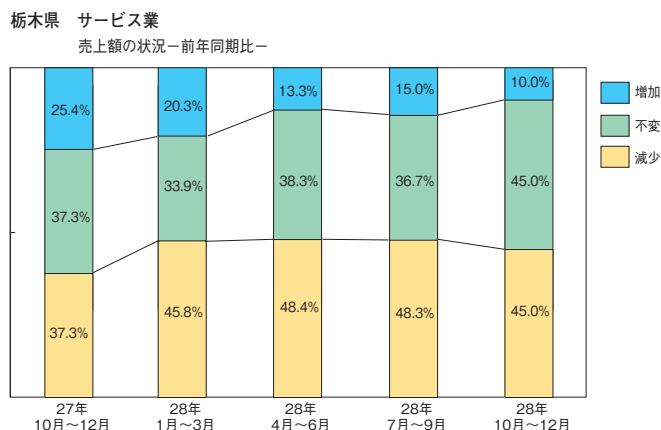
また、「材料等仕入単価」は、11.9ポイント（37.3ポイント→25.4ポイント）の大幅な下降を予想している。

—売上額(収入高)—

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期売上額のD I 値の内訳は、前期と比べ増加企業・減少企業共にほぼ横這いであり、D I 値は前期より1.8ポイントの増加となった。

来期の見通しについては、増加を予想する企業が5.0%減少し、不変を予想する企業が8.3%増加するため、D I 値は-35.0ポイントと、今期より1.7ポイントの悪化を予想している。

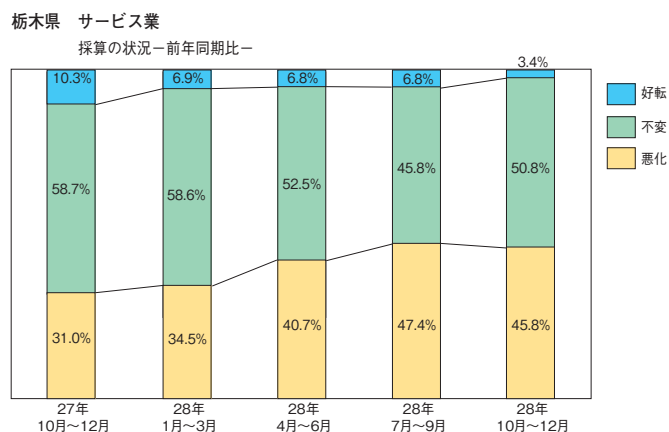


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I 値の内訳を見ると、好転企業は変わらないものの、悪化企業が6.7%増加したため、D I 値は、-40.6ポイントとなり、前期に比べ6.7ポイント悪化した。

来期の見通しは、好転を予想する企業が3.4%減少し、不変とする企業が5.0%増加するため、D I 値は-42.4ポイントと、さらに悪化する予想となっている。

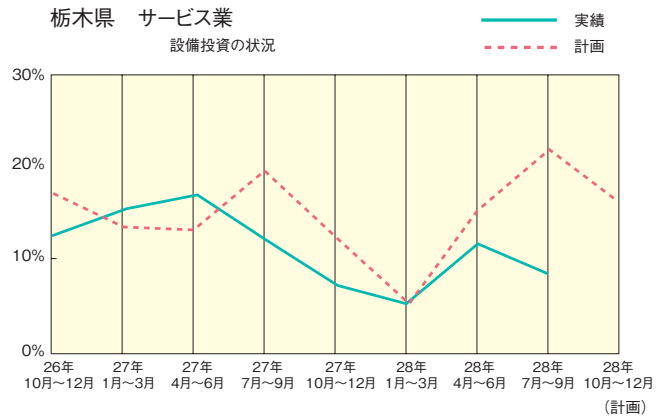


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図21

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合21.7%に対し、実施企業は8.3%となり、計画を大幅に下回る結果となった。

来期に設備投資を計画している企業は、前期に比べ5.0% (21.7%→16.7%) 減少した企業が計画している。

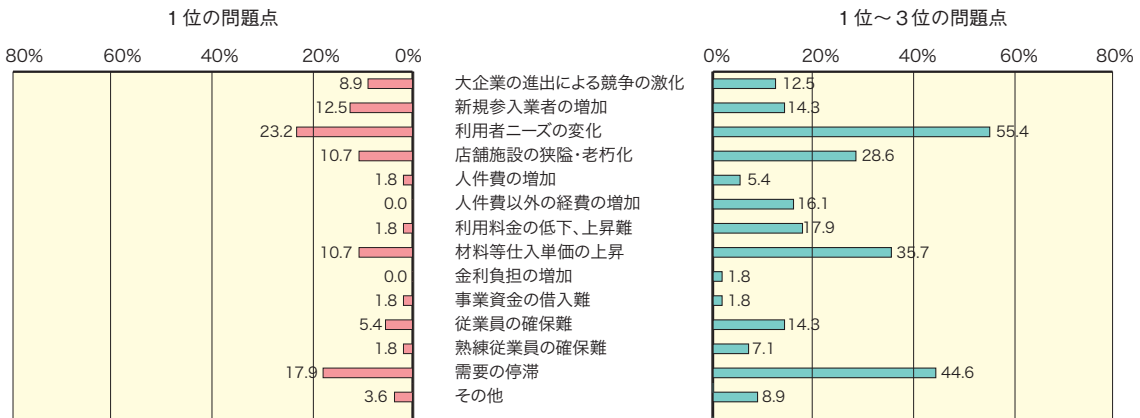


－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図22

栃木県 サービス業

経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



1位の問題点では、「利用者ニーズの変化」(23.2%)がトップに挙げられ、次いで「需要の停滞」(17.9%)、「新規参入業者の増加」(12.5%)となっている。

1位~3位の問題点では、前述の問題を含め、「材料等仕入単価の上昇」(35.7%)、「店舗施設の狭隘・老朽化」(28.6%)が挙げられている。

6. 調査対象事業所の内容

〈製造業〉

業種別内訳 30事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	3	10.0
飲料・資料・たばこ製造業	1	3.3
繊維工業	2	6.6
印刷・同関連業	2	6.6
化学工業	1	3.3
プラスチック製品製造業	1	3.3
鉄鋼業	2	6.6
非鉄鋼業	2	6.6
金属製品製造業	3	10.0
はん用機械器具製造業	1	3.3
生産用機械器具製造業	3	10.0
業務用機械器具製造業	1	3.3
電気機械器具製造業	1	3.3
情報通信機械器具製造業	1	3.3
輸送用機械器具製造業	2	6.6
その他の製造業	4	13.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	10	33.3
3人以上～5人以下	4	13.3
6人以上～10人以下	7	23.3
11人以上～20人以下	6	20.0
21人以上～50人以下	3	10.0
51人以上～100人以下	0	0.0
101人以上	0	0.0

〈建設業〉

業種別内訳 20事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	8	40.0
職別工事業	10	50.0
設備工事業	2	10.0

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	10	50.0
3人以上～5人以下	7	35.0
6人以上～10人以下	1	5.0
11人以上～20人以下	1	5.0
21人以上～50人以下	1	5.0
51人以上～100人以下	0	0.0
100人以上	0	0.0

〈小売業〉

業種別内訳 39事業所

業種	事業所数	割合%
織物・衣服・身の回り品小売業	6	15.3
飲食料品小売業	18	46.1
自動車・自転車小売業	2	5.1
その他小売業	13	33.3

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	29	74.3
3人以上～5人以下	8	20.5
6人以上～10人以下	1	2.5
11人以上～21人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

〈サービス業〉

業種別内訳 61事業所

業種	事業所数	割合%
技術サービス業	3	4.9
一般飲食業（一般・遊興）	23	37.7
宿泊業	1	1.6
洗濯・理美容業	20	32.7
自動車整備業	5	8.1
機械等修理業	1	1.6
その他サービス業	8	13.1

従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	38	62.2
3人以上～5人以下	13	21.3
6人以上～10人以下	7	11.4
11人以上～21人以下	2	3.2
21人以上	1	1.6

第 1 4 9 回 中 小 企 業 景 況 調 査 報 告 書

平成 2 8 年 7 月 ~ 9 月 期 報 告
平成 2 8 年 1 0 月 ~ 1 2 月 期 予 想

編 集 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 顔 晴 る 企 業 応 援 課
発 行 所 : 栃 木 県 商 工 会 連 合 会 栃 木 県 宇 都 宮 市 中 央 3 丁 目 1 番 4 号
TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875
印 刷 所 : (株) 松 井 ビ ・ テ ・ オ ・ 印 刷
